

# 不登校と社会正義

— 不条理に直面する子ども達への支援の在り方を考える —

不登校という現象の背後に潜む貧困、格差、差別などの不条理に目を向け、「社会正義」という社会の公正さを目指す視座から支援の在り方を考えます。

## ◆プログラム 第1部 基調講演

### 「不登校の現状と対策」



藤平 敦 氏  
(国立教育政策研究所  
生徒指導・進路指導研究センター総括研究官)

公立高等学校教員として勤務したのち現職。教員時代から不登校問題に取り組み、現在も不登校を含む生徒指導・進路指導に関する調査・研究に携わる。

### 「『教育と社会正義』論の射程」



下村 英雄 氏  
(労働政策研究・研修機構主任研究員)

専門は、キャリア心理学、教育心理学。キャリア発達とキャリア教育に関する研究を行う一方、近年は「キャリアガイダンス(進路指導)と社会正義」の問題について論じる。

### 「一人称で語る不登校と子どもの権利」



彦田 来留未 氏  
(「不登校の子どもの権利宣言」を  
広めるネットワーク代表)

小学校の時に不登校を経験したのち、フリースクールへの通学を経験する。現在は福祉施設で働くかわら「不登校の子どもの権利宣言」代表として活躍する。

### 「被災地から考える不登校と子どもの貧困」



門馬 優 氏  
(特定非営利活動法人TEDIC代表)

東日本大震災での緊急支援を経て、大学院在学中にTEDICを設立。現在は、石巻市内において不登校、生活困窮世帯の子ども・若者支援にあたる。

## 第2部 質疑応答 第3部 総括討論

コーディネーター：三村隆男(早稲田大学教授) アジア地区キャリア発達学会(ARACD)会長、日本キャリア教育学会会長

## ◆開催日時

2016年1月23日(土)

[14:00-17:00] 13:30受付開始

※入場無料・事前申込 定員100名

申し込みが定員に達した際は  
入場できない場合があります

## ◆企画者より

全国で約12万人いるとされる不登校の小学生、中学生たち。自民党の議員連盟がフリースクールを義務教育制度の中に位置づける法案をまとめるなど、不登校の児童生徒をめぐる環境には変化の兆しが現れています。そのような今こそ、子どもたちの生活や学びの場の確保について「社会正義」の観点から検討を加えることで、新たな知見が得られるのではないのでしょうか。

## ◆会場

早稲田大学14号館 102教室



シンポジウム  
「不登校と社会正義」  
実行委員会 代表  
高野 慎太郎



## ◆申し込み・お問い合わせ先

お問い合わせはこちら [waseda.kyoiku55@gmail.com](mailto:waseda.kyoiku55@gmail.com)

申し込みはFAXまたはQRコードから！ FAX:03-5286-1469

◆詳しくはWebで <http://waseda55.jimdo.com>

## 申し込みフォーム

<https://goo.gl/xKoNwR>

ログインして必要事項を入力してください

